自動運転車

ＧＤＯ上場

リーディングリスト

鹿倉さん

WizBizに投稿後知らせる

ゴルフ会員権相場

１． ゴルフ会員権業が変わっていない

２．ゴルフ会員権業についての重要な問題提起

國久さんモデル

ゴルフ会員権マニアのゴルフあれこれ

自称、ゴルフ会員権マニア“まさ”と申します。

ゴルフ会員権マニアと言えるほど、ゴルフ会員権の売買を繰り返してきました。

まもなく80歳になります。

この年になっても、知り合いの業者に気になる会員権の売りが出てきたら知らせろと、

依頼しています。

さすがに先のことを考えて、ここ数年は処分してきました。

ゴルフ会員権中毒なのでしょうか？

若い人にとって“ゴルフ会員権マニア”なんて信じられないと思います。

我が人生はゴルフとともにありました。

我が人生イコールゴルフ人生と言えるかもしれません。

ゴルフ会員権業者も数社つきあいがありましたが、最も取引したのは

東京・渋谷のアキゴルフです。

他の業者で買った会員権は損をしましたが

といっても業者が悪いのではありません。

私の判断ミスと、バブル崩壊のあおりでダウントレンドに巻き込まれたからです。

アキゴルフで紹介された会員権ではしっかり儲けが出ています。

ここのＳ社長はなかなか情報通で頼りになります。

さすがに茨城の某名門コースは

80歳が間近になり、めっきり飛距離も落ちました。

たまたま親の遺産があったこともあり

、バブル前にゴルフ会員権業者になりました。

バブルの崩壊後、会員権業界に見切りをつけました。現在は他の事業を手掛けています。

★ゴルフ業界が元気がない

平成27年11月初めの週に行われた

「マイナビＡＢＣチャンピオンシップ」で最終日、ベスト10に日本人がたった３人でした。

目を覆いたくなるような惨状となりました。

10年ほど前は尾崎將司、青木功、中島常幸に代表されるスターがいました。

いま、ゴルフのスターがいなくなりました。

テレビのトーナメント中継もいつのまにか見なくなりました。女子も男子も外国（韓国）勢に席巻されています。

ゴルフ熱が醒めたようです。

ゴルフ人口が半減、ゴルフ用品の売り上げも半減したとのこと。

ゴルフ愛好家として、ゴルフ業界をなんとか生き返らせたい気持ちを、まとめました。

あれこれ

オリンピックにゴルフ採用

来年2016年のブラジル・リオデジャネイロオリンピックからオリンピックの競技にゴルフが採用されました。

私の友人に「オリンピック競技にゴルフが採用されたこと知ってる？」ときいたら知りませんでした。

ゴルフが盛り上がっていません。せっかく盛り上がるチャンスなのに兆候すらありません。

せっかくリオデジャネイロオリンピックからゴルフが採用され、ゴルフの愛好者として残念でなりません。

リオの次、東京オリンピックでは霞が関ゴルフ倶楽部で開催が決まっておりますが、このままでは盛り上がりに欠けるままで終わってします心配があります。

１．ゴルフ会員権業が変わっていない

私は、仕事は会員権業をやめましたが、会員権業に関心を持ち続けておりました。

強いゴルファーを育てるには、“ゴルフ好き”の裾野を広げることが重要です。

一般ゴルファーが強くなるには、どこかの**ゴルフクラブ**に入会して、強いゴルファーと切磋琢磨する必要があります。

ゴルフ会員権業界が変わっていないことにご注目ください。

インターネットがこれだけ普及しているのに、私が業界をやめたころからと変わっていない。

現在はゴルフ会員権の流通が旧態依然のままになっています。

会員権業はゴルファーを「一つのゴルフ場で長くゴルフを楽しむ」ためのゴルフ場への橋渡しをする重要な役目があります。

ゴルフ会員権業界が変わらなければならないと思います。

関東でおそらく年間わずか１万件ほどの取引数を零細規模200業者ほどで行っております。

　　　　　１万件ほどなら１社でできる。しかも小人数で。

これだけインターネット利用が進んでいるのですから、１社でできるは夢物語でもなんでもない。

あたりまえと思います。

●市場が縮小している。わずか関東で１万件、全国で３万件程度。

●インターネットの利用がほとんどされていない。

ゴルフ業界活性化のため業界が変わっていないことにご注目ください。

ゴルフ会員権の流通革新が沈滞ムード打破の一助になるのではと考えております。

バブル以降の業界の変化

懐かしい思いで当時を振り返りたいと思います。

ＡＯＮの時代

ゴルフスポーツの成果は芳しくない

華やかさはなくなりました。

青木功　　尾崎　　中島

ＡＯＮの活躍でワクワクした時代がありました。

尾崎将司は113勝、生涯賞金ダントツ26億円、賞金王に12回

2002年全日空オープン以来優勝から遠ざかってしまった。

トーナメントがあれば彼らを追いかけていた。

いま尾崎の名前を聞くことはなくなった。

ゴルファーのヒーローがいなくなった。

松山英樹がアメリカで活躍しています。

武骨。　不器用。　好感持てる若者なのだろうけど、伝わらない

バブル以降のゴルフ業界の動きを振り返ってみます。

バブル崩壊

バブル崩壊以降どんな現象が起こったか振り返ります。

バブル時金融機関のか貸出競争がありました。

その結果

大銀行が倒産の瀬戸際になり、公的資金が注入されメガバンクが誕生しました。

なんとリーマンショックのときにアメリカ経済がおかしくなりました。危機に瀕したモルガンスタンレーを救ったのは日本の

三菱東京ＵＦＪ銀行だった。

再編で強固な銀行になった証明となりました。

借金返済が優先されました。

給料が上がらなくなった。

ゴルフ人口が半減し、ゴルフ用品が売れなくなり、ゴルフ会員権が値下がりしました。

情報技術（IT：Information Technology）革新が急速に進んでいます。

銀行再編、以下のゴルフ場大再編：２大ゴルフ場、

ゴルフ場大再編：２大ゴルフ場

会計、予約からチェックイン、チェックアウト、コンペ集計、HDCP、会員顧客管理までワンストップでゴルフ場経営をサポートできるソフトウエアが開発されました。

アコーディアゴルフ、ＰＧＭ　　２大ゴルフ場会社　スケールメリットの時代に入った。

どちらも約130コース所有

ゴルフ場の再編、メガ銀行の再編、地方銀行ネット証券

800ゴルフ場が倒産しました。

10年ほど

予約業者の台頭

楽天GORA、GDO、アルバ3社で80億円

関東では１万件程度

何より気になるのは

インターネット利用が

ゴルフ道具中古市場

私もそうですが新品は買わなくなった。熱心なゴルファーは

55万本の在庫

会員になって長くゴルフライフを楽しむ

私はバブルの少し前、関東のあるゴルフ場に入会しました。

当時はゴルフをやるには会員権を買わないといけない。会員でないと予約が取れない。

ビジターフィーが高く、会員にならないとゴルフができないと言われた時代でした。

誰もがゴルフをやる時代でした。

みんな熱中していました。

月例競技に参加してウデを競い、会社や地域や学校仲間のコンペが盛んでした。

ゴルフ仲間でロマンスが生まれたり、ゴルフ人脈が生まれました。

飲み仲間ができたり、銀座のクラブに繰り出したりしました。海外へ北海道ゴルフ旅行

ゴルフが人生の大きな部分を占めていました。

懐かしい思い出として残っています。

私もゴルフにであわなければ絶対にであえなかったヒトと交流ができました。

ゴルフ会員権業が旧態依然

バブル時もてはやされた。

一番遅れているのは「ゴルフ会員権業界」ではないでしょうか？

見事に時代の流れに取り残されています。

縮小にめを奪われているだけ。何も対策を取られていない。

生き残るには「他業者の淘汰を待っている」という業者が多いようです。

不思議なことに、誰も注目していない。仕組みを誰も思いつかないからだと思います。

今どき、わずか１万件の取引に200業者で扱っている。

ところが電話やアナログ取引をしているように見えます。

メールで取引しているのでインターネット取引したつもりになっているだけ。

事務所・事務員・設備　　　儲からない　儲からないどころか赤字経営

　　　　　　　　　　　　アブナイ業者が多くなっているのではないか

顧客が高く買わされ、安く売らされている。

200業者分の再編益は無視できない大きさだと思います。

閉鎖的なギルド制に組織で外部からの

ギルド制：

　　　　　　　　　売主と買主を『直接』結ぶ

ゴルフ会員権ネット取引に必要な諸条件を満たす取引システム

ホームページをつくって集客、メールをつかって取引をまとめる

　　　　　　　　　　　　ネット取引をやったつもり

可能にしたのはインターネット（ＩＴ技術）の発展だと思います。

「会員権業者に期待してもムリだよ」業界をよく知っている方からいわれました。

資金力ない零細業者が多い。

今の取引方法に慣れ切っている。

革新的な取り組みはできない。

もちろんゴルフ会員権業だけでなく、ゴルフ場に入会するための名義書換料が高すぎるなどの問題もあります。